

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	80.0%	自校A B層の割合	80.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 必ず振り返りを3分行う。 単元計画の中で、探究的活動を必ず設定する。 毎週一回、若手中心の指導力向上に向けた研修会を行う。 問題、めあて、自分の考え、まとめ振り返り、学習感想等の板書カードを統一して使う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとに漢字まとめテスト、算数まとめテストを年3回実施し、基礎学力の定着・習熟度を確認する。 東京ベーシックドリルの診断テストを年3回実施する。 三年生以上には、国語辞典を携帯させ、言語活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークコンテストを全校で実施する。 「わたしの勉強法」を発表したり、学年だよりやTeams等で紹介したりする。
特に支援が必要な児童への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 「自分なりのめあて」をノートに書き、振り返りができるように支援する。 全員が自信をもって答えられる問題を授業中に数問取り組ませ、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> サポートとして、放課後補習事業者と連携して実施する。 ドリルパークで苦手分野の復習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークを1日10問家庭と協力して実施し、毎日の家庭学習の課題として取り組む。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」肯定的な回答 <p>85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成者 <p>90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合 <p>90%以上</p>